

機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
IUTAM 分科会(第 1 回) 議事録

日 時：平成 30 年 1 月 23 日 (火) 15:00~17:00

場 所：日本学術会議 5 階 5-A (1) 会議室
(東京都港区六本木 7-2-34)

出 欠 (◎委員長, ○副委員長, △幹事)

出席：◎菱田公一, 藤井孝藏, △前川宏一, 吉村忍, ○金田行雄, △亀田正治, 岸本喜久雄, 久保司郎, 竹内徹, 橋口公一, 緑川光正, 矢川元基
欠席：渋谷陽二, 小峯秀雄, 松本洋一郎

配付資料

資料 1 第 24 期分科会委員名簿

資料 2 第 23 期第 6 回分科会 議事録 (案)

資料 3 ICTAM-2024 立候補準備について

資料 4 IUTAM Symposia 2020/2021 への応募について

資料 5 国内対応企画小委員会の設置について

席上配布 公開シンポジウム「第 3 回理論応用力学シンポジウム」開催案内

議事

1) 分科会趣旨説明

藤井世話人より, 口頭にて, 本分科会の設置趣旨の説明があった.

2) 委員長, 副委員長, 幹事の選出

藤井世話人より, 委員長として菱田委員の推薦があり, 全会一致で承認した. 引き続き, 菱田新委員長より, 副委員長として金田委員, 幹事として前川委員, 亀田委員の推薦があり, 全会一致で承認した.

3) 24 期の委員の追加

IUTAM 分科会活動の活性化, ICTAM2024 の日本招致を念頭に, 大島まり (会員, 東京大学), 新野宏 (連携会員, 東京大学) の 2 名を委員として, また, 現在 IUTAM General Assembly メンバーである, 佐野理 (東京農工大学), 西村直志 (京都大学) の 2 名を特任連携会員として追加することを, 幹事会に要望することとした.

4) 24期以降の活動計画について

・ ICTAM2024 の招致準備

資料3に基づき、日程等の確認を行った。次回 General Assembly 会議（7月22日から25日まで、ボストン）にて、日本招致を正式に表明する必要の有無について、今後確認することとした。

また、招致に向けた体制固めのため、現在の General Assembly メンバー（岸本、松本、佐野、西村）のうち、松本委員については、菱田委員長へ交代することとした。

次回 GA 会議の出席者に対する旅費を学術会議事務局に申請することとした。なお、Congress Committee 委員となっている藪野浩司（筑波大学）、谷下一夫（早稲田大学）の2名には、オブザーバーとして今後の分科会への出席を求めることとした。

・ IUTAM Symposia 2020/2021 への応募

資料4に基づき、締切が3月末であることを確認し、計画のあるグループは、提案書の作成を進めて良いこととした。

・ 国内講演会（理論応用力学講演会 NCTAM）等への対応

「理論応用力学企画小委員会」を設置し、この小委員会のもとで、上記の招致準備に加えて、国内講演会（NCTAM）の企画を検討することとした。

国内講演会の会計処理を担当学協会に委託することが困難になっている現状を確認し、他の学術会議主催シンポジウム（安全工学シンポジウム）の状況を調査することとした。

5) 理論応用力学講演会の小委員会の設置について

資料2、資料5に基づき、「理論応用力学企画小委員会」委員候補を検討し以下のような構成とすることとした。

24期分科会メンバーから、菱田、亀田、岸本、前川の4名が参加する。

23期国内対応企画小委員のうち、関連3学協会から、加藤準治（土木工学、東北大学）、吉川仁（土木工学、京都大学）、荒木慶一（建築学、京都大学）、山川誠（建築学、東京電機大学）、高橋正樹（機械工学、慶應義塾大学）、山田貴博（機械工学、横浜国立大学）の6名には引き続き委員を委嘱する。

また、ICTAM 招致等の国際対応を機動的に行えるよう、高木周（東京大学）、河原源太（大阪大学）、堀宗朗（東京大学）、吉川暢宏（東京大学）、および、GA メンバーである、佐野理、西村直志の各氏にも委員を委嘱する。

6) その他

菱田委員長より、追加資料として、「第3回理論応用力学シンポジウム（H30

年 3 月 5 日 13:00-17:00, 学術会議講堂)」開催案内が配布され, 本分科会メンバーの出席および周囲への広報が依頼された. 合わせて, このシンポジウムの午前中 (10:30-11:00) に次回分科会を開催したいとの要望が出され, 出席調査を行うこととした.

以上 (文責: 亀田)